

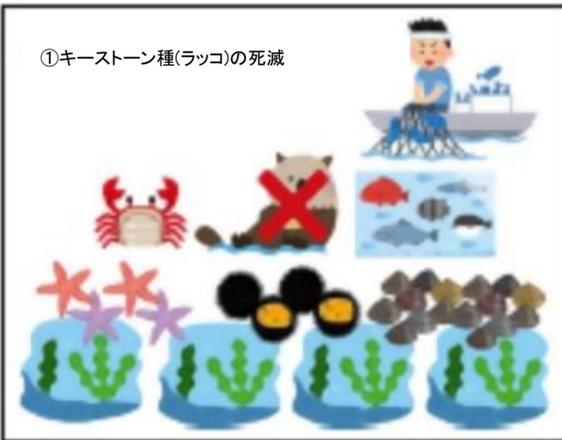
# せいはい



「キーストーン種」とは、生息数が多くないにもかかわらず、生態系に与える影響が大きい生きもののこと！  
代表的な事例は、北太平洋沿岸の「ラッコ」  
北太平洋沿岸では、1990年代にラッコの減少に伴い、その餌となっていたウニの個体数が増加した結果、バランスが崩れて、海藻や魚介類も最終的に死滅したっば。  
「生物多様性」の微妙なバランスを崩すことは、その恵みももらって生活しているみんなの暮らしにも影響を与えることになるっばね～。

## 北太平洋沿岸の事例

①キーストーン種(ラッコ)の死滅



②ラッコのエサであるウニが大繁殖  
ウニのエサである海藻が死滅



③海藻の死滅によりエサや住みか  
なくなった他の魚介類も死滅

